

図画工作		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総評		<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が材料を選択したり、発想や構想したことを基に主体的に活動したり、鑑賞活動の中で、作品を手友達と対話したりできるようになっている。</p> <p>児童の発達段階によって扱う材料が工夫されており、様々な材料を組み合わせたり、自分なりの表現を見つけたりしながら思考し、豊かな表現力を育成するように、絵や立体、工作、鑑賞などの領域の配分もよく考えられている。</p> <p>題材ごとにある作品の配列について統一性に欠ける部分がある。</p> <p>目次のページに見開きで、児童の活動の様子が写真で示されているが、その内容についてやや分かりにくい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が材料を選択したり、鑑賞活動の中で話し合ったりするポイントについても、取り扱っている。③ ○ 児童の発達段階によって扱う材料が工夫されており、様々な材料を組み合わせたり、自分なりの表現を見つけたりしながら思考し、豊かに表現できるようになっている。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 造形的な視点についての理解のため、その時間の目当てが明確に記述されている。② ○ 「ひらめきコーナー」では、身近な材料を用いて自分なりに考えた作品を試すことができるようになっている。また、発想や構想したことを基に主体的に活動したり、作品を手友達と対話したりできるようになっている。③ ○ 材料や用具の扱いについても、きちんと表記されている。⑦ ○ 豊かな表現力を育成するように、絵や立体、工作、鑑賞などの領域の配分もよく考えられている。⑥
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の写真は大きく鮮明であり、児童が「おもしろそう」「やってみたい」と思えるように配列されている。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に、どの領域かの位置づけを分かりやすく表記している。① ○ 活動に必要な材料や、目指すめあてが分かりやすく記載されており、学んだことを生活に生かすことができるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「まなびの資料」として材料・用具の扱いが丁寧に記載されており、ポイントをおさえながら、安全に活動できるようになっている。① ○ 「わくわくするね」「みんなのギャラリー」を鑑賞しながら、見方や感じ方をとらえたり、日本全国の美術作品や伝統的な作品に触れたりすることができるようになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「あわせてまなぼう」等他教科との関連が記述されているが、児童にとってはやや分かりにくい。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 造形的な理解や創造的に作ったりすることについて、指導者がすぐに取り組みやすい題材が少ない。②
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページに見開きで、児童の活動の様子が写真で示されているが、やや分かりにくい。① ○ 文字や題材名が小さい。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の配列が統一性に欠ける。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「集めておこう！材料はたからもの」のコーナーは、どの学年にもあり、新鮮味に欠ける。② ○ QRコードがあり、一見見やすそうだが、授業の中では使いにくい。また、制作の過程などの部分の写真も少ない。②

図画工作		日文（日本文教出版株式会社）
総評		<p>家庭や地域との交流の資料などが掲載され、生活や社会と学びをつなぐ工夫がある。</p> <p>発想のヒントとなる手だてが種類も多く記載され、手や体を動かしたり言葉から発想を広げたりして作品づくりをする題材などが示されており、主体的・対話的で深い学びに向けて、取り組みやすい。</p> <p>道徳マークが絵で表示されるなど、道徳教育との関連も重視されている。</p> <p>用具の取り扱いについて具体物が少ないため、取り扱いの指導をする際に、配慮を必要とするところがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手や体を動かしたり、言葉から発想を広げたりして作品づくりをする題材などが示されており、主体的・対話的で深い学びに向けて、取り組みやすい③ ○ 地域との交流の資料などが掲載され、その地域に合わせた取組を行うことができる。① ○ 道徳教育との関連も重視されている。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通事項を扱うページがあり、児童だけでなく指導者にとっても発想を広げる手助けとなる。⑤ ○ 発想のヒントとなる手立てを種類も多く記載されていて、児童自身が自らの考えを広げていけるように工夫されている。③ ○ 友達との対話を通して活動できるようになっており、楽しんで豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。④ ○ 材料・用具などを安全に使えるよう、学年の発達に応じて適切に記載されている。⑦ ○ 保護者の方へのメッセージや学びを共有する写真が掲載されており生活と学びをつなぐ工夫がある。① ○ 道徳マークが絵で表示されるなど、教科等横断的な視点がある。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の写真が多く、見やすくしっかりした装丁で、親しみやすい① ○ 写真・絵が色鮮やかで、やってみたいと思う配列になっている。② ○ 題材名が工夫されていて、発想が広がるものになっている。また、写真もアングルが工夫されている。③ ○ 色覚に特性のある児童にも配慮された、ユニバーサルデザインに配慮されていて、どの児童にも親しみやすい。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通事項を使うページが分かりやすく、学年に応じてきちんと掲載されている。① ○ 導入・活動・振り返りと見開きでその内容が分かりやすい。① ○ 写真とともに吹き出しも色分けされ、目当ての資質・能力の三つの柱に合っており、分かりやすい①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との交流の資料などが掲載され、題材への発想やその地域に合わせた取組を行うことができる。② ○ 他教科との関連も示されていて効果的な指導が行える工夫がされている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話的な内容を取り上げている内容がやや少ない。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品が多く、つくっていく過程を示しているものがやや少ない。②
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の大きさがどの学年も同じである。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 吹き出しの数がやや多く、説明的である。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ シンプルで見やすいが、用具の取り扱いについて具体物が少ない。②